

令和元年度 事業報告書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

公益財団法人 岩手県下水道公社

令和元年度 事業報告書

基本方針

公益財団法人岩手県下水道公社は、岩手県及び県内市町村の下水道行政を支援するため、下水道の普及啓発や下水道施設の管理運営等の支援事業を行い、もって県民の衛生的で快適な居住環境の改善及び公共用水域の水質保全に寄与することを目的とした定款の趣旨に順じた次の公益目的事業及び収益事業を実施した。

○ 公益目的事業

- ・ 下水道の普及啓発事業
- ・ 下水道施設の管理運営支援事業
- ・ 下水道技術者育成事業
- ・ 下水道に関する調査研究事業
- ・ 排水設備工事責任技術者の資格認定事業

○ 収益事業

- ・ 下水道施設整備支援事業
- ・ アセットマネジメント支援事業

I 公益目的事業報告書

流域下水道施設については岩手県から、公共下水道施設については市町村から管理運営支援業務を受託し、適正かつ効率的な下水道施設の管理運営を支援するとともに、下水道知識の普及啓発及び下水道に関する技術研修並びに調査研究等について積極的に推進し、また、確実な排水設備の工事を実施するために必要な排水設備工事責任技術者資格を認定することとし、もって県民の衛生的で快適な居住環境の改善と公共用水域の水質保全に寄与するため、次のとおりの事業を実施した。

1 下水道の普及啓発事業（資料編 資料No.5 参照）

(1) 施設見学

流域下水道の4浄化センターにおいて、65件1,809名に施設見学を実施した。

（目標：(2)の出前講座と併せて60件）

(2) 下水道出前講座

下水道の役割の理解と、利用促進を目的に、出前講座を14回417名に実施した。

(3) イベント

下水道の普及啓発イベントを8件開催した。（目標：4件）

開催日	イベント名	開催場所	来場者
R1. 8. 7(水)	マンホールカード配布記念イベント	いわて県民情報交流センター（アイーナ）	84名
R1. 8. 24～25	滝沢市産業まつり（イベント協力）	ビッグルーフ滝沢	500名
R1. 9. 7(土)	施設見学会「下水道探検ツアー」	都南浄化センター	215名
R1. 10. 5(土)	岩手県環境保健研究センター一般公開	岩手県環境保健研究センター	214名
R1. 10. 5～6	宮古市産業まつり（イベント協力）	宮古市民総合体育館シーアリーナ	987名
R1. 10. 19～20	一戸町産業まつり（イベント協力）	一戸町コミュニティセンター	351名
R1. 10. 26～27	大船渡市産業まつり（イベント協力）	大船渡市民体育館	355名
R1. 11. 3(日)	洋野町文化祭（イベント協力）	洋野町民文化会館	114名

※ 一関住宅祭(10/12～13)及び久慈市産業まつり(10/12～13)では、イベント協力依頼があったものの、台風19号の影響によりイベントが開催されなかった。

(4) 下水道相談室

下水道に関する相談や質問を受け付ける窓口として設置し、処理場の建設工事や維持管理などに関する相談8件に対応した。

2 下水道施設の管理運営支援事業

(1) 流域下水道施設

北上川上流流域下水道及び磐井川流域下水道の4浄化センターにおいて、適正で効率的な維持管理を支援するため、民間事業者の行う運転操作や水質汚泥分析等について、履行確認及び評価並びに指導助言を行った。

また、施設の安定稼働のため、有資格者を配置して電気保安業務やエネルギー管理業務を行うほか、設備・管渠等の保全に係る設計書の作成及び監督等の業務を行った。各浄化センターにおける下水処理状況等は次のとおりである。

浄化センター	年度	年間		一日平均		放流水管理状況	
		流入水量	脱水汚泥量	流入水量	脱水汚泥量	BOD5mg/L以下	達成率
		千m ³	t	m ³	t		%
都南	30年度	47,055	16,804	128,919	46.0	52日/52日	100
	元年度	45,164	16,581	123,398	45.3	51日/51日	100
北上	30年度	12,443	6,650	34,090	18.2	52日/52日	100
	元年度	12,645	7,041	34,548	19.2	52日/52日	100
水沢	30年度	5,143	2,310	14,091	6.3	49日/52日	94.2
	元年度	5,256	2,588	14,360	7.1	48日/52日	92.3
一関	30年度	3,277	1,792	8,978	4.9	52日/52日	100
	元年度	3,343	1,807	9,134	4.9	52日/52日	100
合計	30年度	67,918	27,556	186,078	75.4	205日/208日	98.6
	元年度	66,408	28,017	181,440	76.5	203日/207日	98.1

※BOD 5 mg/L は、岩手県が民間事業者との契約で定める基準
 ※下水道法では、BOD 15 mg/L と規定

目標：達成率 90%以上

(2) 公共下水道施設

市町村が管理する下水処理場において、運転計画の作成などにより維持管理全体のマネジメントを行うとともに、民間事業者の行う運転管理や水質汚泥分析等に係る履行確認及び評価を行い、5市町村6処理場の管理業務を支援した。

運転状況の管理には、簡易に測定できる放流水透視度を指標としている。

自治体	処理場	年度	放流水質管理状況	
			透視度 100 cm以上	達成率(%)
奥州市	前沢下水浄化センター	30年度	45日/51日	88.2
		元年度	45日/54日	83.3
洋野町	種市浄化センター	30年度	51日/52日	98.1
		元年度	50日/54日	92.6
	大野浄化センター	30年度	52日/52日	100
		元年度	50日/53日	94.3
一戸町	一戸町終末処理場	30年度	50日/51日	98.0
		元年度	40日/55日	72.7
陸前高田市	陸前高田浄化センター	30年度	—	—
		元年度	147日/157日	93.6
九戸村	九戸村浄化センター※	30年度	—	—
		元年度	—	—
合計		30年度	198日/206日	96.1
		元年度	332日/373日	89.0

目標：達成率 90%以上

※九戸村との契約はマネジメント業務を含まないため、管理目標の設定をしていない。

3 下水道技術者育成事業 (資料編 資料No.6 参照)

(1) 技術研修

市町村下水道担当職員等を対象に、下水道管理者として修得しておくべき基本的な事項等についての「技術研修」を次のとおり2回実施した。

(目標：(3)のテーマ別研修と合わせて参加団体 延べ100団体)

回数	開催期間	研修内容	参加人数
第1回	令和元年5月24日(金)	下水道管路施設の設計積算	(13 県市町村) 24名
第2回	令和元年7月4日(木) ～ 7月5日(金)	管路施設の維持管理、処理場の運転管理、処理場設備の維持管理	(20 県市町村) 27名

(2) 日本下水道事業団研修支援

下水道の適正かつ効率的な管理運営を行うために、日本下水道事業団の「下水道研修」に参加する12市町に対して受講料の支援(負担)を行った。

研修コース内容	支援数	支援先
実施設計コース	4市	盛岡市、大船渡市、花巻市、一関市
維持管理コース	3市	久慈市、陸前高田市、二戸市
経営コース	3市町	北上市、釜石市、紫波町
計画設計コース	2市町	滝沢市、矢巾町

(3) 公営企業会計研修

地方公営企業会計の導入への対応が急務であることから、「地方公営企業会計」をテーマに次のとおり研修を3回、座談会等を2回開催し、また研修に付随した個別相談会を4回開催した。

(目標：(1)の技術研修と合わせて参加団体 延べ100団体)

回数	開催期間	研修内容	参加人数
研修第1回	令和元年6月26日(水) ～ 6月28日(金)	知っておきたい企業会計 今年度の年間計画とチェックポイント	(24 県市町村) 76名
研修第2回	令和元年7月31日(水) ～ 8月1日(木)	発注業務の履行確認と職員の業務 経営面から見た広域化の課題	(19 県市町村) 68名
研修第3回	令和元年10月31日(月) ～ 11月1日(水)	移行に向けての最終確認	(18 県市町村) 52名
座談会	令和元年11月1日(水)	これから取組む市町村職員座談会	(9 県市町村) 22名
意見交換会	令和2年3月3日(火)	これから取組む市町村職員意見交換会	(13 県市町村) 22名
相談会第1回	令和元年6月28日(金)	個別相談	県及び3市町
相談会第2回	令和元年8月2日(金)	個別相談	県及び2市町
相談会第3回	令和2年3月4日(水)	個別相談	県及び4市町

4 下水道に関する調査研究事業

下水道施設維持管理費の低減化に資するため、以下の研究を実施している。

テーマ	脱臭用活性炭の交換時期に関する調査研究
【研究内容】	<p>維持管理経費の低減化に寄与するため、下水道施設の脱臭設備における活性炭の劣化状況等を調査し、最適な交換時期を明らかにする。</p> <p>-----</p> <p>下水道施設（処理場・ポンプ場）には、臭気除去のため脱臭設備が設置されているが、最も一般的な方式である活性炭吸着型は細孔構造への吸着により臭気除去が行われ、臭気物質を取り込むほど吸着能力が低下する。このため、活性炭の交換により能力回復が行われるが、これには多額の費用がかかるため、できる限り延長して使用することが求められている。</p> <p>当県の流域下水道施設では、これまで活性炭の劣化の状況に関わらず定期的に交換が行われてきたが、本研究により活性炭交換周期の最適化が図られ維持管理費用が削減できるものと考えている。</p>
【結 果】（1年目）	<p>令和元年度は、設備台帳データベースを基に活性炭吸着塔設備リストを作成し、過去の記録から交換周期・費用の実績について確認した。また、活性炭性能発揮状況の確認として全処理区でのガス濃度等の定期記録、使用済み活性炭の pH 測定・記録及び活性炭の吸着飽和曲線を調査するために手代森ポンプ場で実験用カートリッジを設置し、定期・継続的に活性炭のサンプリング測定を行った。</p> <p>調査の結果、全27基中11基で交換周期延伸の可能性のあることが示された。</p> <p>2年度は、元年度の内容を継続しつつ活性炭の吸着飽和曲線調査のための実験用カートリッジ設置個所を増やして調査することとしている。</p> <p>調査結果を基に交換周期延伸の適否を確認し、最適化による削減効果額を試算する予定である。</p>

5 排水設備工事責任技術者の資格認定事業（資料編 資料No.7参照）

排水設備工事の設計・施工管理を行う際に必要な知識や技術について、資格認定や更新講習会を次のとおり実施した。

（目標：講習会実施回数2回）

開催日	名 称	開催場所	人数	備考
R1. 9. 29(日)	排水設備工事責任技術者試験・受験講習会	建設研修センター (盛岡市)	受講者 93名 <small>(他、市町村聴講者1名)</small>	申込 98名
R1. 10. 20(日)	排水設備工事責任技術者試験	岩手県産業会館 (盛岡市)	受験者 106名 <small>(合格者50名)</small>	申込 110名
R1. 11. 24(日)	排水設備工事責任技術者更新講習会	盛岡 市民文化ホール	受講者 711名 <small>(うち追加講習会29名)</small>	更新対象者 870名 <small>(うち講習免除1名)</small>

※令和2年4月1日現在の登録者数：4,365名

II 収益事業報告書

本県の下水道整備を促進するため、下水道に関する技術支援が必要な県及び市町村に対し、下水道施設の設計、積算及び現場監督補助等を行うとともに、自然災害等により被災した市町村に対して、災害復旧・復興のための支援業務を実施した。

また、下水道施設の適正かつ効率的な運用を支援するため、市町村に対し下水道施設の長寿命化計画を策定することとし、次のとおり事業を実施した。

1 下水道施設整備支援事業 (資料編 資料No.4 参照)

県及び市町村が施工する下水道工事に係る設計・積算及び現場監督補助等の業務を受託し、技術支援を行ったほか、自然災害等による災害復旧のための設計・積算及び現場監督補助等の技術支援を行った。

(1) 流域下水道施設整備支援

受託先	件数		契約額
岩手県	(新規)	1 件	3,960,000 円

(2) 公共下水道施設整備支援

受託先	件数		契約額
市町村	(新規)	23 件	58,193,020 円
	(前年繰越)	8 件	20,938,280 円
災害復旧	(新規)	21 件	28,700,800 円
	(前年繰越)	1 件	3,094,920 円
合 計	(新規)	44 件	86,893,820 円
	(前年繰越)	9 件	24,033,200 円

※次年度へ繰越 5 件 10,403,800 円

(北上市 1 件、野田村 1 件、宮古水産センター 2 件、宮古土木センター 1 件)

2 アセットマネジメント支援事業 (資料編 資料No.4 参照)

市町村の下水道施設におけるストックマネジメント支援するため、ストックマネジメント計画の策定業務を市町村から受託し、技術支援を行った。

受託業務	受託先	件数	契約額
ストックマネジメント計画策定業務	3 市町	3 件	8,503,000 円

Ⅲ 管 理 部 門

1 職員の状況（令和2年4月1日現在） （単位：人）

組 織	職 員	会計年度任用職員	計
事 務 局 長	1 (1)		1 (1)
企 画 管 理 課	5	2	7
工 務 課	5 (2)	4	9 (2)
業 務 課	1 2 (3)	3	1 5 (3)
合 計	2 3 (6)	9	3 2 (6)

※1 ()内の数字は、職員のうち岩手県からの派遣職員の人数。

2 役員等の状況（令和2年4月1日現在） （単位：人）

役 職 名	常勤	非常勤	計	備 考
評 議 員		5	5	(資料編 資料No.1参照)
理 事 長	1		1	(資料編 資料No.2参照)
理 事		4	4	
監 事		2	2	
合 計	1	1 1	1 2	

3 職員研修

職員の職務責任の度に応じた基本研修及び各種法令に基づく資格者の育成や技術・知識の習得を目的とした専門研修（外部研修）を受講した。

研修	機関名等	受講者	備考
基本研修	岩手県立産業技術短期大学校	7名	
専門研修	日本下水道協会	8名	
	岩手労働基準協会	7名	
	岩手県立産業技術短期大学校	5名	
	全国公益法人協会	5名	
	日本下水道事業団	4名	
	岩手県	3名	新採用職員向け研修
	上記以外	12名	日本下水道管路管理業協会、盛岡市、日本分析化学会等

また、職員の資質向上と情報共有を目的として社内研修を4回、改革改善成果発表会を1回実施した。（目標：4回）

回数	開催日	研修内容
第1回	R1. 7. 9	積立投資セミナー（外部講師）
第2回	R1. 7. 30	交通安全講習（外部講師）
第3回	R1. 9. 24	タイムマネジメントで働き方改革（DVD講習）
第4回	R1. 12. 5	組織を守る情報セキュリティ研修
第5回	R1. 2. 25	改革改善成果発表会（3名発表）

4 公益法人立入検査

公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律(平成18年法律第49号)第59条第2項において読み替えて準用する同法第27条第1項の規定に基づく立入検査を令和元年8月5日(月)に受検した。

大きな指摘事項はなかったが、以下の事項に関して機会を見つけて改善することとされた。

対象項目	指導内容	修正内容
財務規程	公益法人会計基準に関する実務指針の改正等により財務諸表の勘定科目が増えているので、機会を見て財務規程に勘定科目を追加すること。	規程の一部改正 (R1.11.6第35回理事会)
給与規程	支給されていない手当があるので、機会を見て給与規程から削除すること。	規程の一部改正 (R1.11.6第35回理事会)
監事監査規程	規程では「毎事業年度の初めに、監査の実施日時、監査事項等についての監査計画を監事間の協議により作成するものとする。」と規定されているので、簡便な方法でも良いので監査計画書を作成すること。	年度初めに監査計画書を作成し、両監事の情報共有を図る。 (R2.4実施)

5 健康管理

(1) 健康診断

令和元年6月に一般健康診断及び生活習慣病予防検診を実施した。

要治療及び要精密検査と診断された職員に対して、再検査等を促し全員が受診している。(就業上の制限がある職員はいない。)

(2) ストレスチェック

改正労働安全衛生法に基づくストレスチェックを、健康診断と同時に全職員へ実施した。(高ストレスによる医師の面接指導を希望する職員はいない。)

6 東北下水道公社連絡会議

第32回東北下水道公社連絡会議を当公社が当番県として令和元年9月26日から27日の2日間開催した。

各県から提出された協議議題7項目について、課題の共有と意見交換を行い、2日目には北上浄化センターのFIT・ガス売却事業などを視察した。

【参加公社等】

公益財団法人青森県建設技術センター(3名)、 一般財団法人宮城県下水道公社(3名)、
公益財団法人山形県建設技術センター(3名)、 公益財団法人福島県下水道公社(3名)、
公益財団法人岩手県下水道公社(10名)

7 評議員会及び理事会の開催状況

会 議 名	開催年月日	開催場所	会 議 の 主 た る 内 容
第 32 回理事会	令和元年 5月13日	盛岡市 キャンセル盛岡	1 公益財団法人岩手県下水道公社平成30年度事業報告及び計算書類の承認について 2 公益財団法人岩手県下水道公社第20回評議員会の招集について (報告) 1 平成30年度理事関係者との利益相反取引の報告について 2 平成31年度県出資等法人運営評価について
第20回評議員会	令和元年 5月28日	盛岡市 キャンセル盛岡	1 公益財団法人岩手県下水道公社平成30年度事業報告及び計算書類の承認について 2 公益財団法人岩手県下水道公社理事の選任について 3 公益財団法人岩手県下水道公社監事の選任について 4 公益財団法人岩手県下水道公社評議員の選任について (報告) 1 公益財団法人岩手県下水道公社中期経営計画書について
第33回理事会	令和元年 5月28日	(決議の省略)	1 代表理事の選任
第34回理事会	令和元年 6月21日	(決議の省略)	1 公益財団法人岩手県下水道公社特定費用準備資金及び資産取得資金の取扱規程の制定 2 資産取得資金の積み立て
第35回理事会	令和元年 11月6日	盛岡市 キャンセル盛岡	1 公益財団法人岩手県下水道公社第20回評議員会の招集について 2 令和元年度理事関係者との利益相反取引の承認について 3 公益財団法人岩手県下水道公社財務規程の一部改正の承認について 4 公益財団法人岩手県下水道公社の職員の給与に関する規程の一部改正の承認について 5 公益財団法人岩手県下水道公社特定費用準備資金及び資産取得資金の取扱規程の一部改正の承認について (報告) 1 令和元年度上半期業務執行状況について 2 令和元年度県出資等法人運営評価について
第21回評議員会	令和元年 11月25日	盛岡市 キャンセル盛岡	(報告) 1 令和元年度上半期業務執行状況について 2 令和元年度県出資等法人運営評価について
第36回理事会	令和元年 12月23日	(決議の省略)	1 公益財団法人岩手県下水道公社会計年度任用職員の給与等に関する規程の制定 2 公益財団法人岩手県下水道公社の職員の再任用に関する規程の制定
第37回理事会	令和2年 3月19日	(決議の省略)	1 公益財団法人岩手県下水道公社令和元年度収支予算変更の承認 2 公益財団法人岩手県下水道公社令和2年度事業計画及び収支予算の承認 3 令和2年度理事関係者との利益相反取引の承認 4 資産取得資金の積立て及び取崩し 5 公益財団法人岩手県下水道公社事務局長の任免 (報告) 1 公益財団法人岩手県下水道公社中期経営計画書

8 主たる行事及び会議等の内容

年 月 日	行 事 及 び 会 議 等 の 内 容	場 所
令和元年		
5月 8日	監事監査	公 社
13日	第32回理事会（H30事業報告等）	盛 岡 市
24日	第1回下水道公社技術研修開催	公 社
28日	第20回評議員会（H30事業報告、役員等の選任）	盛 岡 市
	第33回理事会（代表理事選定）	（決議の省略）
6月 21日	第34回理事会（規程制定、資産取得資金積立）	（決議の省略）
26～28日	第1回地方公営企業会計研修開催	盛 岡 市
28日	第1回地方公営企業会計個別相談会開催	盛 岡 市
7月 4～5日	第2回下水道公社技術研修開催	公 社
9日	第1回社内職員研修（資産形成セミナー）	公 社
30日	第2回社内職員研修（交通安全講習）	公 社
7月31日～8月2日	第2回地方公営企業会計研修開催	盛 岡 市
8月 2日	第2回地方公営企業会計個別相談会開催	盛 岡 市
5日	公益法人立入検査	公 社
24～25日	滝沢市産業まつり（イベント協力）	滝 沢 市
9月 7日	「下水道探検ツアー」開催	盛 岡 市
13日	県出資等法人意見交換（岩手県総務部行政経営推進課）	公 社
24日	第3回社内職員研修（働き方改革）	公 社
26～27日	第32回東北下水道公社連絡会議（岩手開催）	花 巻 市
29日	排水設備工事責任技術者試験受験講習会	盛 岡 市
10月 5日	岩手県環境保健研究センター一般公開（ブース出展）	盛 岡 市
5～6日	宮古市産業まつり（イベント協力）	宮 古 市
19～20日	一戸町産業まつり（イベント協力）	一 戸 町
20日	排水設備工事責任技術者試験	滝 沢 市
24～25日	第41回全国下水道公社連絡協議会	東 京 都
26～27日	大船渡市産業まつり（イベント協力）	大 船 渡 市
10月31日～11月1日	第3回地方公営企業会計研修開催	盛 岡 市
11月 1日	地方公営企業会計市町村職員座談会	盛 岡 市
3日	洋野町文化祭（イベント協力）	洋 野 町
6日	第35回理事会（規程制定等、令和元年度上半期報告）	盛 岡 市
14日	岩手県流域下水道施設災害合同訓練	4 処 理 場
24日	排水設備工事責任技術者更新講習会	盛 岡 市
25日	第21回評議員会（令和元年度上半期報告）	盛 岡 市
12月 5日	第4回社内職員研修（情報セキュリティ）	公 社
23日	第36回理事会（規程制定）	（決議の省略）
令和2年		
2月 25日	職員改革改善成果発表会	公 社
3月 19日	第37回理事会（令和2年度事業計画・予算案）	（決議の省略）